

種目別優勝者決定戦（エキシビション）

実施方法

- この競技は、選手全員の中から各種目ごとに上位から6～8名を選出し、会場前方の競技席で競技を行い、各選手の計算時間を記録し、正答数の多いものから順位を決める。
なお、正答数が同数の時は、計算時間の短いものを上位とする。
- 選手は、全ての解答を記入後、「はい」と言って、筆記用具を持った手で挙手をする。
判定委員は選手の前方に立ち、挙手順を記録する。
正確を期すため、前方左右に2名の競技委員を置き、タブレット等で撮影する。
判定委員が、判定に迷った際は、撮影した動画を確認し挙手順を確定する。
- 決定戦で満点を取った選手のなかで、挙手が最も速かった選手を種目別優勝者とする。
満点の選手がいない時、または満点を取った選手全てが挙手をしなかった時は
その種目の優勝者は無しとし、最上位を2位とする。
- ☆制限時間内であっても、全ての選手が挙手した時点で、競技を終了する。
- ☆挙手の際に答案用紙を裏返さなくてもよい。
- ☆種目別優勝者決定戦では、参加部門に関わらず、コンマは付けなくてもよい。

決定戦進出者

- 300点が3名、295点が4名、290点が2名の時は、295点以上の7名。
- 300点が3名、295点が3名、290点が3名の時は、295点以上の6名。
- 300点が5名、295点が4名の時は、300点の5名と295点の4名の中から
決定戦進出者決戦で3名の計8名。
- ☆決定戦進出者決戦では制限時間を設けず、挙手しない選手があと1人となった時点で
「やめ」とする。
- ☆決定戦進出者決戦は優勝者決定戦の前に、かけ算、わり算、みとり暗算、みとり算の順で
続けて行う。

問題難易度

- かけ算競技
3桁×3桁、4桁×3桁、4桁×4桁、5桁×4桁、5桁×5桁、6桁×5桁
各1題 計6題 制限時間1分
 - わり算競技
÷3桁=3桁、÷3桁=4桁、÷4桁=4桁、÷4桁=5桁、÷5桁=5桁、÷5桁=6桁
各1題 計6題 制限時間1分
 - みとり暗算
4桁10口、5桁10口、6桁10口
各1題 計3題（問題には加減算を含む） 制限時間24秒
 - みとり算
8桁10口、9桁10口、10桁10口
各1題 計3題（問題には加減算を含む） 制限時間1分
- ※『2023年全国そろばんコンクール』の参加団体に、見本問題をデータ送信か郵送する。

以上